西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究･研修、憩い、自然とのふれあいの『場』として開放しています。

～課題研究発表会～

能代西高校では、総合学科における学習の集大成として、生徒自ら設定した課題に取り組んできた過程や成果を発表し、自己の進路選択や人間としての在り方・生き方について考えさせる機会として「課題研究発表会」を実施しています。

２月６日に行われた発表会では、各系列に分かれ、３年生の代表が１、２年生や先生の前で、自分たちの行った研究内容をスライドショーや映像を使って発表しました。このうち、生物資源系列では果樹や草花など６専攻の発表が行われました。草花専攻の「エディブルフラワークッキング」では、食べることのできる花の栽培について発表され、野花との違いや栽培方法などが説明されたほか、その花を使ったババロアやいなり寿司などの料理も紹介され、生徒達は熱心に耳を傾けていました。

↑後輩も真剣に聞いています

作物専攻の生徒が研究した「農業におけるバブル水の活用」では、普通の水と水に酸素を混ぜた「バブル水」では稲の生長にどう変化が起きるかを比較し発表しました。葉齢や茎数、草丈を調査した結果、初めは大きな差はなかったが、収穫した際に収量が「バブル水」の方が100ｇも多くなったことが報告されました。

どの専攻の発表も、研究を通して得られた経験や学んだことをわかりやすく説明しており、今後研究が始まる１、２年生にとって参考になる発表会となりました。

～全校綱引き大会～

能代西高校では、冬場の体力づくりや健康増進、クラスの団結力を深めることを目的に毎年全校綱引き大会を開催しています。大会は、男子の部と女子の部に分かれ、各クラス男女９人１チーム、各３ブロックで予選を行い、予選１位のクラスによる決勝リーグを行い、優勝を争いました。

１試合３本勝負で２本先取した方が勝ちとなり、自分のチーム側に２メートル引くか、制限時間でより引いている方を勝者としました。選手たちは試合が始まると「せーの」と掛け声と力を合わせて綱を引きました。試合では、勢い余って後ろに倒れるチームや、制限時間いっぱいまで勝負がつかない接戦も見られ、応援するクラスメートや先生たちも一進一退の攻防に「負けるな！」「引っ張れ！」と熱い声援を送っていました。どの生徒も真剣に取り組み、勝っても負けても生徒たちの笑顔が印象的でした。

能代西高校ではこの他にも、ギネス大会や球技大会などを通して、生徒同士の絆や団結力を深める活動を行っています。